

八王子いちよう祭りをモチーフとしたお土産

Souvenirs inspired by the Hachioji Ginkgo Festival

峰岸 鳳

指導教員 李 盛姫

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 ビジュアルコミュニケーション研究室

八王子織物工業組合と共同で、八王子いちよう祭りをモチーフにしたお土産のデザインとパッケージを提案し、アンテナショップ「ベネック」での販売を目指す。織物産業の発展と地域活性化を図り、八王子織物の魅力を広めることを目的とする。

キーワード：八王子いちよう祭り、八王子織物、お土産、パッケージ

1. 研究目的

本研究室プロジェクトである、八王子みやげをテーマに共同研究に取り組み、「Made in Hachioji みやげ」をテーマに本年度は八王子織物工業組合と共同研究を行う。本研究では八王子いちよう祭りをモチーフにした八王子みやげの商品提案とパッケージデザインを行う。制作した八王子みやげは、八王子織物工業組合のアンテナショップ「ベネック」での販売を視野に入れ、織物産業の発展に貢献し、八王子の地域活性化と織物の魅力を伝えることが目的である。研究成果物を実売することで八王子織物の知名度のさらなる向上をはかりたいと考える。

2. 調査内容

2-1 八王子いちよう祭り

八王子市追分町から高尾駅入口まで、ほぼ 4km にわたる甲州街道(国道 20 号)の両側に続く約 770 本のいちよう並木で開催される。自然と心のふれあう地域文化を創造し、地域の発展と社会的な拡がりを作ることを目指している。市民の活力を生かして協働のまちづくりを推進するため、有志市民により企画され、多くの市民の参画を得て市民手づくりの新しい祭りとして実施運営されている。

2-2 八王子織物

八王子周辺の村で織られ、八王子に集めて出荷された織物のことである。特徴は、糸を染めてから織る先染めの絹織物であることと、男物や実用の

着物地が中心であることが挙げられる。現在は、着物を着る人が少なくなったため、ネクタイなどの生産が中心になっている。このほか、明治 32 年に八王子織物同業組合を結成するなど、産地全体で近代化に取り組んでいる。

2-3 アンケート調査

ショッピングモール OPA×八王子学生委員会コラボイベントに参加し行ったシール式のアンケートを元にデザインを検討した。設問項目は、商品企画のニーズを調べるためにどの商品を使用したいかの項目、マフラーの配色に関する嗜好について調査した。

3. コンセプトおよびアイデア展開

八王子ならではのお土産を制作するために、伝統工芸品の上品で敷居の高いイメージと、祭りの親しみやすさを掛け合わせ、様々な人を巻き込む作品を制作する。共同研究では、八王子市で開催される以下の代表的な祭りなどをモチーフに、統一感のあるデザインを提案する。

八王子まつり、七夕まつり、八王子花火大会、八王子いちよう祭りなどの中から八王子いちよう祭りをモチーフとし、「MATSURI」をテーマにしたデザインを考案する。「織物で日常生活を豊かにする」をコンセプトとし、デザイン軸として「八王子いちよう祭り」を取り入れた「マフラー」「アームカバー」「日傘」を提案し八王子みやげとして展開する。

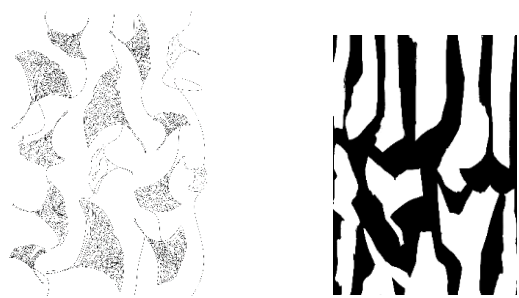


図1.いちょうの葉脈(左) 幹(右)のキービジュアルデザインにいちょうの要素を用いることで、八王子市のいちょう並木と祭りの雰囲気を感じられるようにした。また、いちょう柄を用いることで、八王子市の魅力を伝えるだけでなく、日本文化の一つとして外国人観光客などにも手に取ってもらえると考える。花言葉についても縁起が良く、プレゼントや冠婚葬祭などに適している。八王子織物の高級感のあるイメージから、商品を身につけることで生活の質が向上するようなデザインを制作し、プレゼントとして渡すことができる商品のブランディングを行う。

4. 最終提案物



図2.マフラー（葉脈と幹のデザイン柄）



図3.アームカバーと日傘

マフラー(図2)、日傘のデザインはいちょうの葉脈や幹を元に考案したデザインを用いるなど、植物としてのいちょうを前面に押し出したブランディングを行った。お土産を通して織物の特性や八王子の文化について身近に感じてもらうようにする。ミドル世代男性のターゲット層にアピールするため、パッケージの色数を絞り、素材を生かした包装にする。全体的に落ち着いた印象を与え織物の魅力を最大限に伝える提案にする。

アームカバー(図3)については、いちょうの葉脈をモチーフとしたパターン(図1)の布地を使用し、パッケージデザインでは「七十二候」をモチーフとして四季に合わせた身につけ方の紹介を交えたリーフレットの制作を行う。四季折々、織物、その時その時という意味を込めて「折々アームカバー」というネーミングにした。アームカバーは日除けにも防寒にもなるため、長い間身につけられることから、八王子の織物に親しみを感じてもらえると考える。

5. 今後の展開

本校学園祭での研究発表や検証を行い、パッケージ、リーフレット、タグなどの制作を進める。展示発表として、ジャパノクリエーション2025(11月)に参加するため、提案物のパッケージデザインの確定と制作を進めたいと考える。

キービジュアルの要素を活かした、ストーリー性のあるツールを制作し、商品全体に統一感を持たせることで八王子の織物を手に取ってもらえるようなブランディングを行いたいと考える。

参考文献

[1] 八王子いちょう祭り いちょう祭りとは (2024.10.16)

<https://www.ichou-festa.org/about/>

[2] 八王子市 八王子織物の歴史 (2024.10.16)

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kankobunka/003/002/p005302.html>

[3] 八王子織物工業組合 歴史・伝統 (2024.10.16)

<https://hachioji-orimono.or.jp/history/>